

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

南瓜の里「和寒町」ペポカボチャプロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道上川郡和寒町

3 地域再生計画の区域

北海道上川郡和寒町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

和寒町は、北海道の中央よりやや北部に位置し、名寄盆地の最南端、塩狩峠の麓に広がる恵み豊かな町である。カボチャや越冬キャベツなどの露地野菜、水稻を中心とした農業を基幹産業とする町であるが、農業経営者の高齢化、担い手不足により、年々農業経営体が減少している。また、農産物の原料のままでは、市場価格の変動の影響や、出荷時期が限定的であり、これまでも様々な加工品について開発・研究してきたが、現在は多くの加工品が製造をやめている。消費者ニーズにマッチした新たな加工品の開発が急務である。

4-2 地方創生として目指す将来像

農業を基幹産業とする町として、作付面積日本一の南瓜や全国的に有名な越冬キャベツの生産地という強みや道北の農村地域ならではの豊かな自然環境と観光資源を活かした産業振興を図り、若い世代にとって「魅力」や「やりがい」のある雇用の場を確保する。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
ペポカボチャ種子販売数量 (kg)	4,500	500	1,000	1,000
新商品研究件数(件)	3	1	1	1
商談会での成約件数 (件)	20	5	5	5

	KPI増加分の累計
ペポカボチャ種子販売数量 (kg)	2,500
新商品研究件数(件)	3
商談会での成約件数(件)	15

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本町の新たな特産品として推進しているペポカボチャについて、大学や民間企業と提携し、更なる加工品の研究・開発を進める。また、大学等研究機関による成分検証、民間企業との共同開発による医療や健康食品への活用を進め、付加価値向上を図り、関連事業の拡大による雇用を創出する。さらに、ペポカボチャブランドを確立し、「南瓜の里」和寒町の知名度向上による農業・食関連産業の販売促進とともに、ペポカボチャを入口として和寒町を知った、興味・関心を持った方々を町内の民間団体が行う南瓜関連イベントの集客につなげ、交流人口の拡大を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

和寒町

② 事業の名称：

南瓜の里「和寒町」ペポカボチャプロジェクト

③ 事業の内容

国内で流通するカボチャ種子は、ほとんどが安価な中国産であるが、安全で品質の良い国産が求められていることから、本町の新たな特産品として推進している食用種子カボチャのペポカボチャの販路拡大を進める。

現在、地元菓子店や道内企業による加工品の製品化が進んでいるが、果肉やわたの多くが未利用の状態となっており、大学や民間企業と提携し、更なる加工品の研究・開発により有効活用を図る。また、亜鉛と鉄分がアーモンドの約2倍とヨーロッパでは健康食品とされるペポカボチャの種の機能性に着目し、大学等研究機関による成分検証、民間企業との共同開発による医療や健康食品への活用を進め、付加価値向上を図り、関連事業の拡大による雇用の創出やペポカボチャブランドを確立し、「南瓜の里」

和寒町の知名度向上による農業・食関連産業の販売促進と南瓜関連イベントの実施による交流人口の拡大を図る。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

ペポカボチャの付加価値の向上、ブランド化を進め、日本全国への販路拡大に努めることで安定的な収入を確保し、栽培農業者、加工・販売業者の所得の安定を図る。

【官民協働】

ペポカボチャを提供する地元生産者、ペポカボチャ種子の加工や商品開発、販売を目的として起業した民間企業など、地元で生産から加工・販売まで行う町全体での取り組みであり、町は販路開拓の財政的支援、機能性の検証、関係機関との連絡調整などを行う。

【政策間連携】

ペポカボチャブランドを確立し、「南瓜の里」和寒町の知名度向上による農業・食関連産業の販売促進と南瓜関連イベントの実施による交流人口の拡大を図る。

【地域間連携】

特になし

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
ペポカボチャ種子販売数量 (kg)	4,500	500	1,000	1,000
新商品研究件数(件)	3	1	1	1
商談会での成約件数 (件)	20	5	5	5

	KPI増加分の累計
ペポカボチャ種子販売数量 (kg)	2,500
新商品研究件数(件)	3
商談会での成約件数(件)	15

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

庁内横断組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生庁内プロジェクトチーム」により進捗状況の点検、効果の検証を行った後、外部組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生町民会議」において検証の上、必要に応じて見直しを行う。また、町民会議で不十分な分野は、関係機関を地方創生アドバイザーと位置付け、効果検証、総合戦略の見直しにあたり意見照会、提言をいただく。

【外部組織の参画者】

産：JA 北ひびき、JA 北ひびき青年部、商工会、商工青年部、商工女性部、観光協会

官：和寒町、北海道上川総合振興局（オブザーバー）

学：体育協会、文化団体連絡協議会、青少年育成町民会議（アドバイザー）

金：北星信用金庫和寒支店（アドバイザー）、北海道銀行士別支店（アドバイザー）

労：農民連盟、社会福祉協議会、子ども会育成連絡会議、老人クラブ連合会、女性ネットワーク、連合北海道和寒地区連合会（アドバイザー）

言：北海道新聞、北都新聞、道北日報各社（アドバイザー）

【検証結果の公表の方法】

検証後、速やかに町のホームページで公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

総事業費 30,245千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 各種イベント事業

事業概要：民間団体が行うハロウィーンイベントなど南瓜をメインにしたイベントを支援し、カボチャのまちのブランド化、PRを推進する。

実施主体：パンプキンフェスティバル in わっさむ実行委員会、わっさむハロウィーンプロジェクト 等

事業期間：平成29年度～平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

庁内横断組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生庁内プロジェクトチーム」により進捗状況の点検、効果の検証を行った後、外部組織の「和寒町まち・ひと・しごと創生町民会議」において検証の上、必要に応じて見直しを行う。また、町民会議で不十分な分野は、関係機関を地方創生アドバイザーと位置付け、効果検証、総合戦略の見直しにあたり意見照会、提言をいただく。

【外部組織の参画者】

産：JA 北ひびき、JA 北ひびき青年部、商工会、商工青年部、商工女性部、観光協会

官：和寒町、北海道上川総合振興局（オブザーバー）

学：体育協会、文化団体連絡協議会、青少年育成町民会議（アドバイザー）

金：北星信用金庫和寒支店（アドバイザー）、北海道銀行士別支店（アドバイザー）

労：農民連盟、社会福祉協議会、子ども会育成連絡会議、老人クラブ連合会、女性ネットワーク、連合北海道和寒地区連合会（アドバイザー）

言：北海道新聞、北都新聞、道北日報各社（アドバイザー）

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
ペポカボチャ種子販売数量 (kg)	4,500	500	1,000	1,000
新商品研究件数(件)	3	1	1	1
商談会での成約件数 (件)	20	5	5	5

	KPI増加分の累計
ペポカボチャ種子販売数量 (kg)	2,500
新商品研究件数(件)	3
商談会での成約件数 (件)	15

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、検証後、速やかに町のホームページで公表を行う。